

# セーフティプロモーションスクール認証申請書

---

Safety Promotion School Designation application



河内長野市立石仏小学校

---

Ishibotoke Elementary School

# 目 次

学校概要	3
セーフティプロモーションスクールの7つの指標	5
指標1	6
指標2	6
指標3	7
指標4	8
指標5	9
指標6	10
指標7	11
【写真資料】 (ホームページには掲載していません)	
安全管理	12
安全教育	13
安全連携	15
資料：学校安全・防災教育 系統一覧表	16
資料：本校におけるケガの分析 (保健室より)	17

## 河内長野市立石仏小学校の概要

### 【沿革史】

- 1981（昭和56）年 大阪府河内長野市立石仏小学校を創立  
創立式典挙行（10月6日）この日を創立記念日と定める
- 1982（昭和57）年 プール完成
- 1984（昭和59）年 学校給食開始
- 1990（平成 2）年 創立10周年記念誌発行  
創立10周年記念事業として航空写真を撮影  
高鉄棒・低鉄棒設置 体育館前通路シルター完成
- 1994（平成 6）年 南河内第二教科書センター設置
- 1997（平成 9）年 コンピュータ設置
- 1998（平成10）年 藤棚設置
- 2008（平成20）年 「かがやけ 石小っ子」看板設置
- 2010（平成22）年 ICT 機器設置  
運動場一部芝生化 30周年記念事業
- 2020（令和 2）年 40周年記念事業

### 【本校周辺地図】

〒586-0069

大阪府河内長野市石仏 662

<TEL>0721-68-8766

<FAX>0721-68-8799



<E-mail>ishibotoke\_el@ml.kawachinagano.ed.jp

### 【環境】

校区は、校名となった石仏や尾崎、惣代などの旧村地域と、山林を切り開いて造成された南・北青葉台地区で構成されています。当地域は、起伏に富んだ山林や畑に囲まれ、空気が清らかで、交通の便はあまり良くありませんが、子どもたちにとっては自然環境、社会環境ともに恵まれており、のびのびと学習できる条件がそろっています。本校は、住宅地同様、山林を切り



開いて造成された、小高い丘（海拔 160m）にあります。校地は広く総面積 45,577 m<sup>2</sup>（運動場 10,684 m<sup>2</sup>、建物敷地 9,502 m<sup>2</sup>、実験実習地ほか 25,391 m<sup>2</sup>）で、教材園、コンピュータ室、ラーニングスペースなどの屋内施設も整っています。

### 【石仏の由来】

新町から南へは旧道が西側にあつて、この道筋に家並があります。その南の端にあるお堂が阿弥陀寺です。「この寺は別名「石仏寺」と言い、本尊はその名の通り石仏（三石仏）ですが、これが地名となっている事は由緒あるお寺に違いありません。現堂は江戸時代の再建とみられます。」と書かれてあります。（「河内長野百景」より）

### 【校章の由来】



本校の校章は、創立前年の加賀田小学校の先生方が考案して下さった案の中から創立時に、初代校長が採択し決定されました。外郭の桜の花びらは、加小のものを踏襲し、本校が加賀田小学校より分離し創設された事を表現しており、中央は、校名「石仏小学校」の頭文字の石を三つ組み合わせたものの図案化であり、これは本校の校区が「石仏・加賀田地区」「北青葉台地区」「南青葉台地区」の三地域であることを意味し、この三地域の児童・保護者地域の方々・本校教職員の三者が堅く結び合つて、本校の発展を強く願っている姿を表現しているのです。

### 【教職員数と在籍児童】

教職員数

職名	人数
校長	1
教頭	1
教諭	16
養護教諭	1
事務	1
支援員	2
校務員	1
給食配膳員	2

在籍児童数（令和4年2月1日現在）

学年	学級数	児童数
1年	1	33
2年	1	35
3年	1	36
4年	1	32
5年	1	35
6年	1	42
支援学級	4	
合計	10	213

### 【教育目標及びめざす子ども像】

(1) 教育目標 『笑顔で つながれ かがやけ』 石小っ子

(2) めざす子ども像

- 「かنگえる子」 (自ら考え、判断する子)
- 「がんばる子」 (最後まであきらめない子)
- 「やさしい子」 (思いやりのある子)
- 「けんこうな子」 (明るく元気な子)

## セーフティプロモーションスクール（SPS）の7つの指標

指標 1	学校内に、学校安全に関わる活動の中核を担う「学校安全コーディネーター」等を設置し、その「学校安全コーディネーター」を中心とする学校安全推進のための委員会（以下「学校安全委員会」）が設置されている。なお学校安全委員会は、「学校安全コーディネーター」のほか、校長・教頭等の学校管理職を含む教職員の代表、児童生徒の代表、PTA 代表、学校を管轄する地域の警察署・消防署の代表、学校のある地域自治会の代表、スクールガードリーダー等の学校ボランティアの代表等から構成されていることが望ましい。
指標 2	学校において、「生活安全」・「災害安全」・「交通安全」の分野ごとに、「安全教育」・「安全管理」・「安全連携」の領域（「3領域」と表記）の学校安全推進のための「中期目標・中期計画（3年間程度）」が立案されている。
指標 3	学校安全委員会において、「中期目標・中期計画」に基づいた学校独自の学校安全推進のための「年間計画」が策定されている。
指標 4	策定された「年間計画」に基づいて、学校安全委員会を中心に、学校関係者が参加して、学校安全推進のための活動が年間を通じて継続的に実践されている。
指標 5	学校安全委員会において、実践された学校安全推進に関わる活動の成果が定期的に報告され、それぞれ明確な根拠を基に活動に対する分析と評価が行われている。
指標 6	学校安全委員会における次年度の「年間計画」の策定にあたって、それまでの活動成果の分析と評価を参考に、当該校における学校安全に関わる実践課題の明確化と「年間計画」の改善が取り組まれている。
指標 7	学校安全推進に関わる活動の成果が、当該学校関係者に共有されるよう広報するとともに、「協働」の理念に基づいて、国内外の学校への積極的な活動成果の公開と新たな情報の収集に努めている。

## 指標 1 : 学校安全委員会

区分	役職
教職員代表	校長・教頭・教務主任・安全主任・養護教諭
児童代表	代表委員会
P T A 代表	P T A 会長・P T A 本部役員
警察関係者	羽曳野警察署スクールサポーター
消防関係者	河内長野消防署
地域代表	学校運営協議会委員・児童の見守り隊
学校関係	河内長野市立加賀田中学校長

## 指標 2 : セーフティプロモーションスクール活動【中期目標・中期計画】

分野	中期目標・中期計画
生活安全 ・外傷予防 ・犯罪予防	<ul style="list-style-type: none"> <li>・養護教諭によるけがの統計に基づいた傷害発生箇所及び、児童と教員が行う安全点検による校内の危険箇所の把握と校内環境の改善に努める。</li> <li>→けがの発生件数を前年度と比べ10%減少する。</li> <li>→教員による安全を意識した校内環境の改善を定期的に行う。(月1回)</li> <li>・安全教育を通して児童が自ら危険を予測し、回避できる能力を育成する。</li> <li>→気づき・考え・判断し、行動できる子の育成をめざした安全教育を推進する。</li> <li>→全児童の防犯ブザー着用率を10%アップする。</li> <li>→1、2年生での防犯教室による学習、5年生での応急手当の学習を行う。</li> </ul>
災害安全 ・地震対策 ・風水害対策 ・火災予防	<ul style="list-style-type: none"> <li>・震災などによって学校待機となった児童を、保護者が引き取りに来ることを想定した訓練を企画・運営・研鑽することで災害時での動きに備える。</li> <li>→学校・P T A 共同備蓄品の点検及び定期的な更新(学期に1回)を行う。児童は緊急時を意識した防災バッグの中身を考え、各家庭で保管する。</li> <li>・教職員・児童・保護者・地域が参加した合同避難訓練を実施する。</li> <li>→緊急地震速報を使用した避難訓練や火災を想定した避難訓練や土砂災害避難訓練や不審者対応訓練を年5回行う。</li> <li>・各種団体及び、関係諸機関と連携した研修や避難訓練を行う。</li> </ul>
交通安全 ・被害予防 ・加害予防	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自転車安全教室と交通安全教室を学年に応じて実施する。</li> <li>→D V D などの視聴覚教材を用いて児童の理解を深める。</li> <li>→警察などの関係諸機関の協力を得て専門的な内容も学ぶようにする。</li> <li>・P T A 活動において年間で当番を決め、見守り活動を定期的に行うことで登下校の安全を守る。(月に3回程度)</li> <li>・安全指導の充実を図り、児童が自ら危険を予測し、回避できる能力を育成する。</li> <li>→各学年における副読本等を用いて安全指導を実施する。(月1回程度)</li> </ul>

### 指標3：セーフティプロモーションスクール活動の年間計画（令和3年度）

分野	領域	年間計画
生活安全 ・外傷予防 ・犯罪予防	安全教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>○外傷の原因や発生場所を振り返ることで、自ら進んで外傷予防に取り組もうとする意識を高める。</li> <li>○安全学習・安全指導の授業によって一人一人の危険予知能力及び、危険回避能力を育成する。（副読本の活用）</li> <li>○廊下の歩き方や休み時間の約束について児童会で企画・提案し、全校児童が校内で安全に過ごせるようにする。</li> <li>○不審者対応避難訓練（パワーポイント学習・実地訓練）を行うことにより、緊急事態に落ち着いて対応できる力を身につける。</li> <li>○防犯ブザーや登下校ルートの確認をし、児童が安全に過ごせるようにする。</li> </ul>
	安全管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>○教室や廊下、運動場、体育館など校内の危険箇所の点検を行う。</li> <li>○週1回の職員朝会で安全管理についての情報交換を行い、教職員の連携を深める。</li> <li>○運動場を見渡せるようにカーテンを開けたり、休み時間や放課後に校内を巡回したりして、危険な行動を防いだり指導したりする。</li> <li>○メール配信システムを活用し、学校と保護者との連携が迅速に行えるようにする。</li> <li>○食物アレルギー対応実地訓練を行い、緊急時には全教員がエピペンを使用できるように備える。</li> </ul>
	安全連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>○救急救命講習・訓練を通して教職員間の救命スキルを高める。</li> <li>○不審者対応マニュアルを制定する。</li> <li>○学校保健委員会で学校の取組を報告し、外部からの評価を受ける。</li> </ul>
災害安全 ・地震対策 ・風水害対策 ・火災予防	安全教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地震・火災・土砂災害の避難訓練を年5回実施し、児童の防災スキルを高める。</li> <li>○防災に関する授業を総合的な学習の時間及び、学級活動の時間の年間指導カリキュラムに組み入れる。</li> <li>○地区別児童会で下校ルートを確認したり、危険箇所の共通理解をしたりして災害時のために高学年のリーダーシップを育む。</li> </ul>
	安全管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>○防災マニュアルに基づき、教職員がそれぞれの役割を果たす。</li> <li>○教員による年12回の校内安全点検をする。</li> <li>○災害時における保護者への連絡体制を確実なものにする。</li> </ul>
	安全連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>○救急救命講習・訓練を通して教職員間の救命スキルを高める。</li> <li>○地域や河内長野消防署、河内長野警察署、市役所と連携した安全教育を実施する。</li> </ul>
交通安全 ・被害予防 ・加害予防	安全教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>○安全に登下校しようとする態度を育成する。</li> <li>○自転車安全教室と交通安全教室を学年に応じて実施する。</li> </ul>
	安全管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>○見守り隊の方が中心となり、登下校時に校区内を巡回し、児童の安全を確保する。</li> <li>○安全な経路を通学路として定める。</li> </ul>
	安全連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>○PTA、学校運営協議会、見守り隊、関係各機関と連携し、地域の情報を共通理解する。</li> <li>○保護者や地域の協力を得て登下校の安全が確保されるように努める。</li> <li>○河内長野警察署と連携した安全教育を実施する。</li> </ul>

## 指標 4 : セーフティプロモーションスクール活動の実践 (令和 3 年度)

分野	領域	活動・実践の内容
生活安全 ・外傷予防 ・犯罪予防	安全 教育	<p>○けがをした児童がけがの種別発生場所を保健室前の平面図に記録した。</p> <p>○安全学習・安全指導の授業（副読本の活用で月 1 回程度）で危険予知能力や危険回避能力を高めるために、様々な危険から身を守るためにはどのような行動をとるべきかを考えた。</p> <p>○児童会の提案によって校内で安全に過ごすためのキャンペーン(走らんじゃー)を実施した。(6/7)</p> <p>○授業中に不審者が侵入したという想定での避難訓練を行った。(6/8)</p> <p>○1. 2 年生は防犯教室の DVD 鑑賞をし(9/3)、5 年生は消防署職員による救命救急の学習を行った。(10/22)</p>
	安全 管理	<p>○校内で安全に学校生活を送ることができるように教室内の配置を考慮した。</p> <p>○校内安全マップを作成し(10/13)、代表委員会が中心となり啓発活動を行った。</p> <p>○校内の廊下や階段では右側を歩くことの指導を徹底した。(通年)</p> <p>○学校と保護者との連携を図るために、メール配信システムを活用した。(通年)</p> <p>○給食中に児童がアナフィラキシーショックを起こすことを想定したアレルギー対応実地訓練を教職員が行った。(4/7)</p>
	安全 連携	<p>○救急救命講習及び訓練を行い、救命スキルを向上した。(6/16)</p> <p>○職員が不審者役を演じ、学校に侵入してきたことを想定し、不審者取り押さえから警察へ引き渡すまでの実地訓練を行った。(5/31)</p> <p>○保護者や児童に学校アンケートを行い、教育活動に対する調査を行った。(4/23)</p>
災害安全 ・地震対策 ・風水雪害 対策 ・火災予防	安全 教育	<p>○児童と教職員が、地震や火災、土砂災害が発生したという想定で一次避難行動から避難経路の確認、その後二次避難行動をとる避難訓練を行った。(地震 9/13・9/24 火災 2/8 土砂災害 12/22)</p> <p>○副読本を活用し、総合的な学習の時間及び、学級活動の時間に防災に関する教育に取り組んだ。(月 1 回程度)</p> <p>○地区別児童会の時間を設定し、年に 2 回一斉下校を実施した。(12/22 3/9)</p>
	安全 管理	<p>○防災マニュアルを作成し、それに基づき、地震・火災・風水害の発生時に対応するための役割を確認した。(4/2)</p> <p>○安全点検をもとに、業者による防火扉や非常ベル等の点検を行った。(6/18)</p> <p>○災害発生時に迅速に保護者に連絡がとれる体制を整えておいた。</p> <p>○水泳学習指導の期間中、毎時間の指導内容及び安全点検結果、水位の調節等の管理状況をプール日誌に記入した。</p>
	安全 連携	<p>○河内長野消防署と連携して普通救急救命講習を実施した。(6/16)</p> <p>○ゲストティチャーを招き、災害被害を軽減させるための取組を確認した。(1/28)</p>
交通安全 ・被害予防 ・加害予防	安全 教育	<p>○全学年交通安全教室の DVD を視聴し、副読本を活用して、登下校の安全学習を進めた。(5/24)</p> <p>○河内長野警察署の協力により、1. 2 年生に登下校での交通安全について指導した。(9/3)</p>
	安全 管理	<p>○教職員が通学路を巡回し、安全を確保した。(学期初め 3 日間)</p>
	安全 連携	<p>○見守り隊やスクールサポーター、PTA が決められた場所に立って児童の登下校時の安全確保を行った。(毎日)</p>



## 指標5：セーフティプロモーションスクール活動の評価（令和3年度）

分野	領域	評価
生活安全 ・外傷予防 ・犯罪予防	安全教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>○これまでの実践を踏まえた安全学習・安全指導におけるカリキュラムを学年毎に系統立てて構築することができた。</li> <li>○けがの起こる原因や状況が明確になり、けがを予防する意識が高まった。</li> <li>○定期的に生活安全指導部会を開き、現状の意見交流や実践に対する振り返りを行い、新しい企画や取組改善について意見を出し合った。</li> </ul>
	安全管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>○定期的に行う安全点検に基づいて、危険箇所の改修や修繕を可能な範囲で行った。</li> <li>○生活指導上の課題があった場合、教職員全体で情報を共有し対応した。</li> <li>○不審者情報を受け、教員が一斉集団下校で引率したり、校区の見回りパトロールを行ったりした。</li> </ul>
	安全連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>○救急救命講習及び訓練を受け、救命スキルの維持・向上を図った。</li> <li>○不審者対応避難訓練の実践を振り返り、今後の訓練のさらなる充実を図ることについて協議した。</li> <li>○感染症流行の際に、校医や教育委員会と連携し対策をとった。</li> </ul>
災害安全 ・地震対策 ・風水雪害対策 ・火災予防	安全教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>○これまでの実践を踏まえた安全学習・安全指導におけるカリキュラムを学年毎に系統立てて構築することができた。</li> <li>○地震・火災・不審者対応の避難訓練を年間計5回実施した。</li> <li>○緊急地震速報を用いて様々な場面を想定した訓練を実施した。</li> <li>○総合的な学習の時間や学級活動の時間の年間カリキュラムに沿って、防災に関する指導を行った。</li> <li>○定期的に生活安全指導部会を開き、現状の意見交流や実践に対する振り返りを行い、新しい企画や取組改善の為の意見を出し合った。</li> </ul>
	安全管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>○防災マニュアルを作成し、年度初めの安全の日に周知徹底するとともに、1年を通して訓練や点検を実施した。</li> <li>○毎回の避難訓練後の反省を教職員も振り返り、記録・評価を行った。</li> <li>○水泳学習指導期間中の指導内容及び安全点検を記録した。</li> </ul>
	安全連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>○河内長野消防署等、関係諸機関・各種団体との連携内容の検討を行った。</li> <li>○業者及び関係諸機関と連携し、水泳学習実施前の設備点検を行った。</li> <li>○保護者・教職員による学校評価を行った。</li> </ul>
交通安全 ・被害予防 ・加害予防	安全教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>○これまでの実践を踏まえた安全学習・安全指導におけるカリキュラムを学年毎に系統立てて構築することができた。</li> <li>○全学年交通安全教室のDVDを視聴し、副読本を活用して、登下校の安全学習ができた。</li> <li>○定期的に生活安全指導部会を開き、現状の意見交流や実践に対する振り返りを行い、新しい企画や取組改善の為の意見を出し合った。</li> </ul>
	安全管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>○河内長野市内の交通事故の分析結果を踏まえ、朝会や学級活動の時間に指導した。</li> <li>○教職員による通学路の巡回を行った。</li> </ul>
	安全連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>○見守り隊やPTAによる登下校時の見守りを行った。</li> <li>○職員による登下校時の安全パトロールを実施した。</li> </ul>

## 指標6：セーフティプロモーションスクール活動の改善（令和3年度）

分野	領域	課題への対応と改善
生活安全 ・外傷予防 ・犯罪予防	安全教育	○けがや防犯について、各学年・学級でカリキュラムに沿って計画的に充実した指導を行う。 ○安全教育におけるカリキュラムの構築、見直し・改善を行う。 ○月1回の生活安全指導部会による評価を基にして、教育活動を改善する。
	安全管理	○学校安全の日を設定し、児童自身の安全意識を維持・継続するための活動を行う。 ○校内でのけが発生状況を分析し、けがを減らすための工夫をする。
	安全連携	○登下校時の児童の安全指導を徹底する。 ○職員会議にて、関係諸機関・各種団体・PTA等との連携内容を検討し、防犯パトロールの企画・運営をめざす。
災害安全 ・地震対策 ・風水雪害対策 ・火災予防	安全教育	○安全教育におけるカリキュラムの構築、見直し・改善を行う。 ○月1回の生活安全指導部会による評価を基にして、教育活動を改善する。 ○防災等に関する教材開発を行う。
	安全管理	○安全点検を基にして災害時に危険になる箇所を改善する。 ○反省・映像記録を基に避難訓練を改善する。
	安全連携	○生活安全指導部会において、避難訓練の時期及び関係諸機関・各種団体との連携内容を検討する。
交通安全 ・被害予防 ・加害予防	安全教育	○安全教育におけるカリキュラムの構築、再編成・改定を行う。 ○月1回の生活安全指導部会による評価を基にして、教育活動を改善する。 ○学習の成果をもとに主体的に動ける児童を育成する。
	安全管理	○生活安全指導部会において、安全管理の検討を行う。
	安全連携	○職員会議にて、関係諸機関・各種団体・PTA等との連携内容を検討し安全指導の充実を図る。

指標7：セーフティプロモーションスクール活動の共有（令和3年度）

分野	領域	成果の共有と協働
生活安全 ・外傷予防 ・犯罪予防	安全教育	○中学校区成果発表会において、本校の安全に関する取組について発表した。各校で取り組める内容は実践していく事を共有した。 ○中学校区で先進校の取組についての話を聞き合同研修を行った。 ○校内でのケガの発生状況を保健委員会が全校児童へ発表した。
	安全管理	○生活安全指導部会を定期的に行き、安全についての情報共有を行った。 ○児童の傷害発生状況を教職員間で共有した。
	安全連携	○地域別懇談会で地域の安全について情報共有を行った。 ○児童の傷害発生状況を学校保健委員会で学校三師、保護者、教職員で共有した。 ○不審者対応避難訓練を実施した後、振り返りを行い、今後の訓練の在り方について協議した。
災害安全 ・地震対策 ・風水雪害対策 ・火災予防	安全教育	○6年生の修学旅行で神戸の防災センターを見学した。総合的な学習の時間で防災についてまとめた。 ○中学校区成果発表会において、本校の安全に関する取組について発表した。
	安全管理	○中学校区の交流会で本校の取組について報告した。 ○今年度の本校の取組と教職員、保護者による学校評価について職員会議等で報告・交流した。
	安全連携	○本校の取組について学校運営連絡協議会において情報を共有した。 ○管理職が月1回のPTAとの運営委員会で情報交換を行った。 ○河内長野消防署と河内長野警察署と定期的に防災について情報交換を行った。
交通安全 ・被害予防 ・加害予防	安全教育	○校区夏季研修にて安全教育に関する本校の取組を発表し情報共有を行った。 ○中学校区成果発表会において、本校の安全に関する取組について発表した。
	安全管理	○学校運営協議会で本校の取組について報告した。 ○今年度の本校の取組と教職員、保護者による学校評価について職員会議等で報告・交流した。
	安全連携	○本校の取組について学校運営連絡協議会において情報を共有した。 ○PTA 子ども安全委員会において定期的にあいさつ運動やいっしょに帰ろう運動など実施し、登下校の安全について情報共有を行った。